

冬は野鳥観察に適した季節!

●今回は13種類の鳥たちを観察して!

昨1日午後2時30分からは、樹名板取り付けに引き続いて埼玉県生態系保護協会春日部支部(三好あき子支部長)の皆様にご案内をいただき、「**麗しの杜**」(川久保公園の一部で春日部地区浦高会が植樹等を行っている杜)と古利根川に生息する野鳥たちの観察を行いました。参加者は、会員16名+子ども1名、市公園緑地課1名、生態系保護協会3名でした。



【①三好さんから説明を伺う参加者】



【②公園内を歩く参加者】

公園内を歩き始めると、三好さんが上方の枝先を指しています。そこには蓑虫がいました。少し歩いて50m先の木の枝先に止まっているスズメとムクドリの説明があり、スズメの大きな特徴は頬の黒いところだそうです。

その後も、キジバトやドバト、ツグミを見ることができました。川に出ると、カモが岸辺で草を食べています。80羽いるとのことでした。



三好さんがカモの糞を取ってこられましたが、確かに緑色をしていました。その後、セグロセキレイやハクセキレイ、餌を取るカワウ、遠くで旋回するハシボソカラス(田園地帯に多く、ハシブトカラスは都会に多いそうです)、アオジなどを見ることができました。鳥たちの泣き声や動きで、すぐに名前が出てくる皆さんの観察力と知識に敬服ですね。

三好さんからは「夏のほうが野鳥は多いのですが、木々などに隠れてしまうため、良く見えるのは今の季節です。ぜひ、野鳥観察にお越しください」と。



【スズメ】



【ムクドリ】



【キジバト】



【ドバト】



【ツグミ】



【コガモ】



【カルガモ】



【ヒドリガモ】



【セグロセキレイ】



【ハクセキレイ】



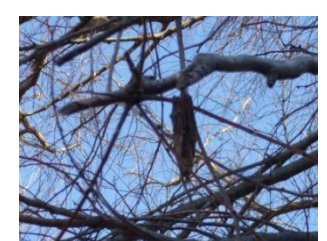
【カワウ】



【ハシボソカラス】



【アオジ】



【近年珍しいミノムシ】

13種類の鳥たちと蓑虫、蟻螂の卵などを..